



市立岸和田市民病院だより

う ら ら

第12号  
令和2年3月

【発行】  
市立岸和田市民病院  
広報委員会

市立岸和田市民病院

KISHIWADA  
CITY  
HOSPITAL



# 救急医療と高度専門医療を重点に 地域の基幹病院としての使命を 果たします

市立岸和田市民病院

院長 小切 匡史

市立岸和田市民病院は、約90万人が住む泉州二次医療圏の基幹病院として、70年以上地域医療に従事してきました。高度専門医療と救急医療に重点を置き、その両立を目指しています。

高度専門医療では、国から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、がん診療の4本柱である、外科治療・薬物治療・放射線治療・緩和医療のそれぞれに専門医を配置しています。更に、がん関連の専門・認定看護師や薬剤師、ケースワーカーなどが、チームとしてがん診療に取り組んでいます。また、2018年には府から「大阪府難病診療連携拠点病院」に指定されました。消化器、血液、神経、免疫などの難病患者さんのお力になれるよう、スタッフの充実を図っています。

救急医療では、24時間・365日体制で救急患者さんを受け入れています。吐下血・脳卒中・小児救急では泉州地域の輪番制に加わるとともに、循環器医師が常時院内に待機しています。2019年には日本脳卒中学会の一脳卒中センターに認定されました。

大学病院や大規模病院のない泉州二次医療圏で、地域の医療機関、介護施設、行政などと連携し、泉州地域が一つの医療体として総合的な医療を提供できるよう、誠心誠意の尽力をいたします。



## 温かい心を持って 良質で高度な医療をご提供します

### 基本理念

市民の皆さんが安心して心のこもった良質な医療を受けられる病院をめざします。患者さん一人ひとりの権利と安全を確保し、絶えず向上心を持って皆さんに信頼されるよう努めます。

### 基本方針

- 1.市民の皆さんが安心して良質な医療を受けられるように高度・専門医療と救急医療を充実する。
- 1.患者さんが医療の中心であることを忘れず、個人の知る権利と決定する権利を尊重する。
- 1.患者さんと職員の安全を確保する。
- 1.地域の中核病院として地域医療連携を推進する。
- 1.職員の教育・研修を充実し、絶えず向上心を持って努力する。

### 患者さんの権利の尊重

市立岸和田市民病院は、患者さんの権利を尊重し、説明と同意に基づき、最善の医療を提供するように努めます。患者さんが医療に主体的に参加し、私たち医療者と信頼関係のもとに、共同して医療に取り組むことを大切にし、以下のように宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受ける権利を尊重します。
- 十分な説明と情報提供を受け、検査、治療等を自らの意思で選択できる権利を尊重します。
- 自身の医療について他の医師等の意見（セカンドオピニオン）を求める権利を尊重します。
- 個人の尊厳とプライバシーが守られる権利を尊重します。

### 岸和田市民病院ロゴマーク

このマークは岸和田市の頭文字「K」と「若葉」をモチーフに大空に飛び立つ鳥をイメージしています。「若葉」には若々しさや健康、信頼関係、そして、質の高い医療を温かい心で市民の皆さまに提供する心を表現しています。また、飛び立つ「鳥」に地域医療の中核病院として、地域とともに発展していく姿を表現しています。

### 病院概要

大阪府岸和田市額原町1001番地  
(泉州二次医療圏のほぼ中央)

病床数:400床  
診療科:32科  
医師:109名  
看護師:343名  
医療技術者:102名  
(2020年1月現在)

- (財)日本医療機能評価機構認定病院
- 地域がん診療連携拠点病院(国指定)
- 地域医療支援病院
- 臨床研修病院
- 7:1看護職員配置

### 市立岸和田市民病院の主な特色



## 目次

地域医療／患者支援センター	— 3
救急医療／救急センター	— 4
がん診療 (緩和ケア、外来化学療法センター)	— 5
放射線治療	— 6
がん相談	— 7
産婦人科	— 8
チーム医療	— 9



## 泉州地域を一つの医療体に

当院は、大阪府より「地域医療支援病院」の承認を受けています。地域の医療機関と当院が同時に患者さまの主治医であるように連携を強化し、地域の皆さまへより良い医療の提供とサービスの向上に努め、信頼される病院として地域医療に貢献していきます。

### 患者支援センターの役割とは



副院長兼患者支援センター長

尾上 雅彦

内科、外科、産婦人科、小児科・・・多くの市民の方々は病院のこれらの診療科の名称をご存知だと思います。一方、患者支援センターという名称は、案外ご存知ないかもしれません。2017年に開設された当院の患者支援センターには三つの大きな役割があります。そのひとつめが“地域医療連携”です。近隣の医療機関との連携や患者さんの紹介や受け入れなどの支援を行なっています。ふたつめが入退院支援です。入院前から患者さんやご家族をサポートし、入院中の不安を解消して安心な治療を受けることができるように、さらには退院後の社会復帰や療養生活がスムーズに行えるようお手伝いします。みつめが医療相談、がん相談などの相談機能です。これらの専門職員が総力をあげて、他の医療機関や介護・福祉施設、行政なども連携しながら、患者さんが病院へ来られた時から退院後まで、切れ目なく支援できるように活動しております。皆様のご意見を聴きながら、さらに機能を充実させてまいりますので、よろしくお願いいたします。

### 患者さんを全面的に支える医療を提供 [患者支援センター]

患者支援センターは、患者さんやご家族の様々な疑問や不安に対して、適切な対応による安心を確保し、患者さんの地域生活への早期復帰を支援することを目的としています。「地域連携」「医療相談」「入退院支援」を主な業務とし、かかりつけ医療機関との紹介・逆紹介や様々な相談への対応、また、医師・看護師・医療ソーシャルワーカーを中心に、薬剤師・栄養士・検査技師など専門スタッフが加わり、入院決定時から退院・転院まで患者さんやご家族をサポートできる体制を整えています。



医療相談



退院支援カンファレンス







## 24時間・365日体制で救急診療を受け入れ

当院では泉州地域の基幹病院として、24時間・365日救急診療を受け入れています。院内の各診療科協力のもと、当直やオンコール体制により救急処置や緊急オペにも対応するなど院内全体で受け入れ体制を整えています。

### 高度な医療で迅速に対応する【救急センター】

当院の外来救急診療の受け入れ件数は年間16,500件（うち救急車搬送件数約5,000件）入院数約2,000人にのぼり、泉州地域の救急診療の重要な役割を担っています。CT（コンピューター断層撮影）・MRI・血管造影（アンギオ）検査装置など、様々な高度医療機器と精度の高い画像診断により救命機会の拡大に努めています。また、手術器械の展開を一元化できるクリーンホールを有しており、スムーズに手術を行うための設備体制が整っています。



### 救急体制を整え迅速かつ的確な医療連携を図る



救急センター長兼救急科部長

福廣 吉晃

岸和田市消防では、救急車5台で年間1万3千件を超える救急搬送業務をこなしており、そのうち約7千件を高齢者が占め、増加傾向です。当科は中等症を中心に他の診療科の協力のもと幅広い年齢に対して救急医療を提供しています。高齢者救急搬送は当院でも増加しており、高齢者の健康福祉対策として、国は、地域包括ケアシステム“住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム構築”の推進を掲げていますが、立案、推進する役割は各地域に委ねられています。当科でも、少しでもこのシステムに貢献出来るように救急医療の立場から日々努力をしております。当科では緊急性が高いと判断された患者様の診療が優先されます。地域の救急医療の円滑な運用のため、救急車の適正利用にご協力ください。

## 救急医療連携

消防  
救急救命士

地域医療機関

救急救命センター  
など

田市民病院

中央手術室

クリーンホール



初期治療室



## 地域がん診療連携拠点病院としての責務を地域とともに果たす

当院は泉州地域で唯一、国から「地域がん診療連携拠点病院」に指定されています。診療科、職種を超えたスタッフ体制を整え、専門的で質の高いがん医療の提供、がん患者・家族等に対する相談支援、緩和ケアの充実など、地域全体におけるがん診療の水準を高めるための中心的な役割を担っています。

### 緩和ケア

## がん専門のスペシャリストがチームを組み退院後の在宅ケアまでを実施

緩和ケア病棟では、患者さんとご家族の心身の苦痛を和らげ、その人らしく穏やかに過ごせるよう医師やがん看護専門看護師・がん性疼痛看護認定看護師・リンパドレナージセラピスト・薬剤師・医療ソーシャルワーカーなどがチームを組み、総合的な緩和ケアに取り組んでいます。また、地域の医療機関やかかりつけ医と協力して、退院後の在宅ケアも行っています。

緩和ケアカンファレンス



### 外来化学療法センター

## 快適・安全・安心な環境を整え副作用を軽減

がん化学療法の一部は、抗がん薬や副作用予防薬の進歩により、家庭で生活しながら通院で行えるようになりました。外来で治療を行うことにより、患者さんの利便性や経済性、生活の質を高めることができます。当院の外来化学療法センターでは、腫瘍内科医をはじめ、がん化学療法看護認定看護師と、がんに精通したスタッフが常駐し、抗がん薬や免疫チェックポイント阻害薬による治療を行っています。また、

外来化学療法センター

リラックスできる環境整備に努め、より快適に、より安全に、安心して治療を受けていただけるように心がけています。





## 最新の放射線治療技術で からだにやさしいがん治療を目指す

放射線治療は、がんを精確に狙いうちする技術と、正常臓器の被ばくをおさえつつ、がんに必要な量の放射線を照射する技術が飛躍的に向上し、画像誘導放射線治療や定位放射線治療、強度変調放射線治療などの高精度放射線治療が開発されました。当院では、このような最新の技術を駆使し、副作用の少ない、これまでより高い治療効果が期待できる放射線治療を目指します。

### がんの形状にあわせた線量分布を実現する 強度変調放射線治療 [IMRT]

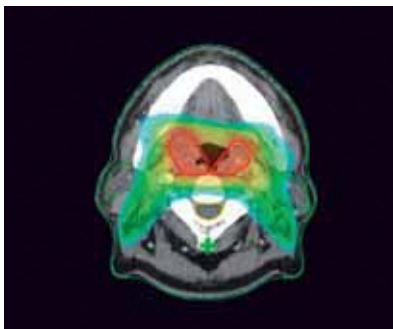
IMRTとは、コンピュータ計算を駆使した最適化により、病巣に凹凸があってもなるべくその形状にあわせて十分量の放射線を照射し、周囲の正常臓器の被ばくを極力低減する革新的な照射技術です。当院では、IMRTの発展形である強度変調回転放射線治療 (VMAT) を導入しました。VMATではそれ以前のIMRTと比べて同等以上の線量分布がえられ、かつ照射にかかる時間が大幅に短縮でき、患者さんによりやさしい治療を行うことができるようになりました。



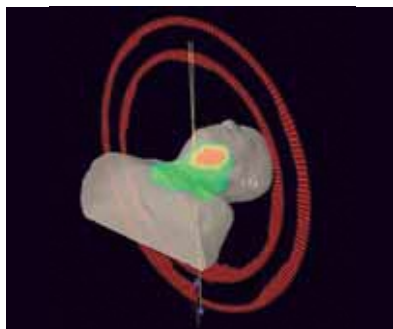
#### 【外部照射装置(リニアック)】

当院では、すべての放射線治療をこの装置で行います。VMATでは、患者さんは寝台に寝たまゝの状態、ガントリ装置が回転しながら、ビームの方向、強さ、形状を変化させながら照射します。従来のIMRTよりも照射時間が大幅に短縮可能になりました。

#### 中咽頭がんVMATの例

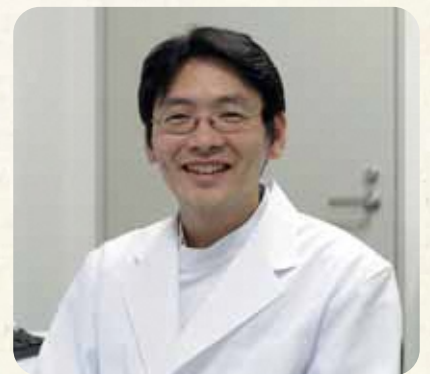


線量分布：中咽頭がん（赤線）に対して高線量照射、リンパ節領域（橙色線）にも80%程度の線量を照射しつつ、脊髄（黄色線）、左右耳下腺（緑線、黄緑線）の被ばくを低減できている。



からだどビーム方向（赤色）：VMATではからだに対して回転しながらビーム強度やしぼりを変調させながら照射します。

### 高精度放射線治療を安心 して受けていただけるように



放射線治療科部長

小倉 昌和

当院では、2017年度に泉州地域で初めて保険診療によるIMRTを開始し、2019年度にVMAT方式を導入しました。現在すべてのIMRTはVMAT方式により、前立腺がんや頭頸部がんなどに、完治を目的とした患者さんに対して行っています。また、小さな（直径5cm以下）脳腫瘍や肺がんに対して、できるだけ絞り込んで、ピンポイントで大線量を照射する定位放射線治療も行っています。なかでも、横隔膜に近い胸部や腹部のがん病巣は、呼吸によって数cm動く場合があり、この対策として、息止め照射や呼吸同期照射治療を行っています。一方、このような高精度放射線治療を実施するには、綿密な治療計画の立案と、立案した計画どおりに装置が動作し確実に照射されるための厳密な精度管理が求められます。当院は、放射線治療専門医が複数常勤し、医学物理士、放射線治療専門技師、看護師とともに一つのチームとなり、それぞれの技量、持ち味を生かして、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう心がけています。

## 認定がん相談支援センターを設置し、 高度なスキルでがん患者さんを支援

「がん相談支援センター」は、がん診療連携拠点病院等に設置されている、がんに関する相談窓口です。その中でも、当院は、国で定められているがん相談支援センターの要件を満たしているだけでなく、提供する相談支援サービスの質を維持・向上させていくための体制整備に努め、相談対応を検証し評価・改善活動に取り組んでいるかなどについて、一定の基準を満たした施設とされ、平成31年に「認定がん相談支援センター」に認定されました。

がんになると、患者さんだけでなく、ご家族の生活にも様々な変化が訪れます。がんの症状や治療のことはもちろん、気持ちの辛さや不安、介護・福祉サービスや今後の療養、医療費や仕事の心配など、がん患者やご家族の抱える心身のつらさを緩和するため、多岐にわたる相談を受け付けています。医療ソーシャルワーカーや看護師が窓口や電話・メールで相談に応じ、必要に応じて医師や薬剤師、管理栄養士など専門職と協力して不安の解消をお手伝いしています。「休職期間中のお金のことが不安」などの思いにお応えできるよう、ハローワークや社会保険労務士などと連携を図りつつ、がん治療と仕事の両立支援もおこなっています。

患者さんやご家族が病と向き合いながらも安心して日々を過ごせるよう、一緒に考え、ともに支え、

これからの生活がよりよいものとなるために積極的に相談支援に取り組んでまいります。相談内容については、相談者の了解なしにご家族や担当医に伝えることはありませんので安心してご相談ください。また当院以外で受診中の方や匿名での相談も可能です。



### ～がん患者サロン Luana～



平成30年3月より「がん患者サロンLuana」をオープンしました。Luana（ルアナ）とはハワイ語で「皆で楽しむ、ゆったりとした、くつろぎの時間」などの意味があります。がん患者さんはもちろんご家族の方もがんと診断された時から様々な不安や心身のつらさが生じると思います。様々な悩みを一人で抱え込まず、自由に語り合い、ほっとひと息つける場所をつくりたいとの思いで開設しました。毎回、様々なテーマで専門職が20分のミニレクチャーを行ない、それ以外の時間はお茶を飲みながら自由に過ごしていただいています。がん患者さん、ご家族であれば事前の申し込みは不要で、どなたでもお越しいただけますので、ぜひお立ち寄りください。

開催日時：奇数月の第4金曜日 午後1時～午後2時半

場所：2階 研修室

受付時間：平日（月～金）の午前9時～午後5時

電話相談：072-445-1000（代表）

メールでの相談：info@kishiwada-hospital.com

問い合わせ先：がん相談支援センター





# 安心と充実の医療体制で女性の健康と新しい生命の誕生をサポート

産科

当院では、24時間365日、産婦人科医師が常駐し、妊娠中から出産後までトータル管理をしています。妊娠期間中は妊婦検診の各種検査に加え、検査技師による超音波検査、出産直後の赤ちゃんには聴覚検査を実施するなど、母子ともに体調異常の早期発見に努めています。また、産婦人科医、小児科医、助産師を含む看護スタッフ、そして各専門の診療科が協力し、生命の誕生である出産をサポートしています。

婦人科

当院では、がん患者さんに対して、婦人科だけでなく放射線治療科・腫瘍内科・緩和ケア内科などの医師が連携してサポートしています。また、放射線治療設備・PET-CTなどの設備も充実しているため、集学的治療も可能となっています。特に放射線治療設備に関しては、画像誘導放射線治療（IGRT）が可能となり、照射する精度が向上しました。手術に関しては、経験豊富な婦人科腫瘍専門医が在籍していることにより、開腹・腔式・腹腔鏡下・子宮鏡下といったすべての術式に対応し、十分なインフォームド・コンセント（説明と同意）のもと、患者さんにとって最も安全で最適な術式を選択しています。

## 産科再開をアピールし 泉州地域における 少子化対策の一助に したい



副院長兼産婦人科部長

### 出口 昌昭

昨今、産婦人科医は減少の傾向にあります。その状況を踏まえ、当院では平成26年5月、産科を再開しました。平成30年7月には、産科再開以来500人目の赤ちゃんが誕生いたしました。今後も市内外を問わず、当院で出産できることを積極的にアピールしたいと考えております。

診療科目の特性上、24時間・365日体制で産婦人科医師が常駐し、分娩管理や妊娠中の異常に対応しています。院外の先生方にもご協力をいただき、体制を整えています。また、婦人科に関しては、平成25年10月に再開し、充実した医療設備で患者さんにとって最善の医療を提供しています。今後もチーム医療を活かして、泉州地域における少子化対策の一助になればと考えています。

分娩室



祝い膳



4Dエコー



当院で生まれたお子様



## 専門性の高い知識や能力を活かした 組織横断的なチーム医療を確立

患者さんを中心に主治医・看護職・コメディカル等の職種が協力し、専門性の高い知識や能力を活かした組織横断的なチーム医療を積極的に行っています。医師・看護師・薬剤師・リハビリテーション技士・歯科衛生士・栄養士・臨床検査技師など多職種のメンバーにより構成されたチームの中で、専門看護師・認定看護師は特定の専門分野に関する知識・技術を用いて水準の高い看護を実践し、チーム医療のコアメンバーとして各職種間の調整など中心的役割を担っています。また、リソースナースとして実践活動を通じて知識・技術をスタッフに還元し、病院組織全体の質の向上に大きく貢献しています。各職種間は業務を分担しつつ互いに補完し合い、患者さんの状況に的確に対応した医療を提供しており、このような組織横断的活動の結果として、疾病の早期発見・早期回復・重症化予防など医療や生活の質の向上などの効果をもたらしています。



### 専門・認定看護師が担う組織横断的活動

[チーム]	[ラウンド]	[チーム]	[ラウンド]	[チーム]	[ラウンド]
安全管理ラウンドチーム	安全管理ラウンド	呼吸ケアチーム	呼吸ケアラウンド	認知症ケアチーム	認知症ケアラウンド
褥瘡対策チーム	褥瘡対策ラウンド	感染対策チーム	ICTラウンド	災害対策プロジェクトチーム	
栄養サポートチーム	NSTラウンド	口腔ケアチーム	口腔ケアラウンド	看護局 専門・認定看護師チーム	
緩和ケアチーム	緩和ケアラウンド				

### 医療局

現在、当院では約100名の医師が診療に携わっており、各医師は地域の医療拠点として恥じることのない診療レベルを保つべく日夜研鑽に励んでおります。また院内各科間の連携を密にし、より多面的な医療が行えるように努力しています。



### 看護局

私たち看護職員は、あるべき医療や介護の姿を見据え、絶えず向上心を持ち、目標に向かって努力し、急性期医療の地域中核病院として役割を果たしていきたいと思っております。どのように時代が変化しても、患者さんが医療の中心であることを忘れず、常に能力開発に努め成長し、質の高い看護を提供します。そして、地域医療を支える気概と誇りをもって実践していきます。





## 医療技術局

### 薬剤部

お薬は患者さんの治療において大切な役割を担っています。病室において病棟専任薬剤師がわかりやすく説明を行い、医師及び他の医療スタッフにも迅速で正確な情報提供を行っています。特殊な点滴(抗がん薬等)については専用の部屋で調製を行い、患者さんへ安全にお薬を提供しています。



### 中央放射線部

単純撮影検査・CTやMRI検査・X線透視装置による消化器・泌尿器系造影検査・X線透視下での呼吸器系の生検・整形外科の脊椎腔検査・アイソトープ検査・PET検査などの検査および診断部門と非侵襲性インターベンション(IVR)治療部門、さらに放射線治療があり、病院全体において多岐にわたって重責を担っています。



### 栄養管理部

病状に応じた栄養管理を実施し、疾患の早期治癒を図っています。病院食は安全に美味しく調理することに努め、旬の食材使用や行事食なども提供しています。また、栄養サポートチーム・褥瘡対策チーム等と連携を行いながら栄養管理に取り組んでいます。さらに、個別の栄養食事指導を行い、患者教室を開催してご家庭での食事療法もサポートしています。



### リハビリテーション部

心大血管・脳血管・廃用・運動器・呼吸器・がんのリハビリの各疾患別リハビリテーション施設基準を習得しています。また、患者さんのニーズに沿ったリハビリテーションを提供するために、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が連携して多方面からのアプローチを実践しています。



### 中央検査部

健康診断や病気の診断・経過をみるための臨床検査には、尿検査・血液検査・細菌検査・輸液検査などの検体検査と心電図・呼吸機能・脳波・超音波など生理検査があります。医師の指示の下、正確で迅速な検査結果を提供しています。また、各種認定の取得、研修会への参加で知識・技術の向上に努めています。



### 臨床工学部

生命維持管理装置(人工心肺/補助循環/人工呼吸/血液浄化など)や治療機器(心臓カテーテル治療/カテーテルアブレーション/不整脈デバイス/手術関連機器)など重要医療機器の技術提供や院内医療機器約1,500台の保守管理を行っています。また、知識・技術の向上のため、各種学会認定資格を取得し治療現場の安全確保に貢献しています。



### 診療技士部(聴覚技師)

聴力・ティンパノメトリー・平衡機能・神経生理・味覚など耳鼻咽喉科領域全般の検査を行っています。また当院で出産されたお子さまで希望される方には、新生児聴覚スクリーニング検査も行っています。



### 診療技士部(視能訓練士)

視力検査に始まり、眼圧・視野・眼底写真等、眼科診療に必要な様々な検査を眼科外来の中ですべて行います。弱視訓練から周術期検査、ロービジョンケアまで、患者さんの思いや訴えを的確にキャッチし、医師へ受け渡せるよう、親しみやすいプロフェッショナルを目指しています。



### 診療技士部(歯科衛生士)

歯科衛生士は、歯科疾患の予防と口腔衛生の向上を図ると共に、皆さまの歯と口腔の健康づくりをサポートする専門職です。歯科疾患の予防や、診療の補助につき、歯科医師をサポートし、また、歯科保健指導の一環として、糖尿病教室や、市民講座などで、口腔ケアの重要性を啓発活動しています。そして、入院中の患者さんの口腔ケア回診を行い、口腔管理地域連携パスでは、歯科医師会と協力し、がん治療の、前、中、後を通して、お口の管理を行っています。





付近図



診療科 32科 (R2.1.1現在)

- |          |        |            |
|----------|--------|------------|
| 内科       | 小児科    | 耳鼻咽喉科      |
| 循環器内科    | 皮膚科    | 眼科         |
| 消化器内科    | 外科     | 形成外科       |
| 呼吸器内科    | 消化器外科  | 歯科口腔外科     |
| 神経内科     | 乳腺外科   | 救急科        |
| 代謝・内分泌内科 | 整形外科   | 放射線科       |
| 血液内科     | 脳神経外科  | 放射線治療科     |
| 腫瘍内科     | 心臓血管外科 | 麻酔科        |
| 緩和ケア内科   | 呼吸器外科  | リハビリテーション科 |
| 腎臓内科     | 泌尿器科   | 病理診断科      |
| 精神科      | 産婦人科   |            |

市立岸和田市民病院

〒596-8501 大阪府岸和田市額原町1001番地  
 TEL.072-445-1000 FAX.072-441-8812  
<http://www.kishiwada-hospital.com>

岸和田市祭礼之図 (部分)

